



取扱主事 西島平助 電話五九
兼編輯及 鈴木誠亮
印刷所 株式会社平活版所
發行所 磐陽商業新報社

理性を論ず

龍 月生

情火燃えに燃えて渾然とは叱呼して其の不能を責めて我を忘れ、空しく感情を互ひに奪闘す。此の時の奴隷となりて暗黒の窟に於て理性の鞏固なるもの沈み行かんとするの時、一は幸福なり。飄然として覺縷の流れ咽び來りて情火を醒し以て其の徒を保ち得べし、欲燭を滅して吾人を醒し、理性の薄弱な覺醒せしむるものは理性なる者は不幸なり、恐るべき罪惡に沈溺すればなり、蓋

茫々然たる悲哀の沙漠に同情はたゞ事物に接觸し混沌の霧に迷ふ時、一道のて感ずる愛憎、喜怒哀樂ミレトシ樹は清絶の光を放ちの情にして眞の善惡を識るて我を復活せしむるものは理性なるが故に若し理性なり、

あ、空しく感情の燭に身か餘りに熱烈に、餘りに貧を焦して一縷の理性を認め、餘りに横着にして社得ず、徒らに怒り、悶え、會的秩序の如きは日ならず偏りて没理的な平衡千萬なし。人の萬物に卓越せる所の生活を送るもの不幸なし。以て此の理性を有する者哉。

彼の宇宙の電氣に陰陽のに依つて存す、論じ來れば兩極あるが如く性と理とは理性の人に於ける其の關す常にプラス、マイナスの兩る處大なりと云ふべし、か極端に位りして以て相應相なるが故に人、感情に依り補ふ、此に於てか人は自己で動かんとする時は先づ冷の本能の極端なる感情を制かに理性に訴へて、其の判して、始めて圓滿なる自我斷に從はざるべからず。理を保ち得べきなり、感情は性の判断を待たずして働く須く熱烈なるべし、理性は暴勢なり、熱烈火の如し須く冷静なるべし、感情は雖も虚勢なり、感情燃い烈しく燃えんと欲し理性は理性これを許し、此に始冷々として之を冷さんと欲めて眞の勇氣は奮然として、感情は烈々として情慾起り、金鐵を貫くの怪力を満足せしめんとし、理性生ずるなり、

悠々たるかな天壤遼々たるかな古今、玄々の辭世を遺して、不可解に煩悶して華嚴の瀧の泡沫と化せし藤村操の如き誠に感情の熱烈に偏して、一縷の理性を認め得ざりしなり宇宙は因より宏漠として解すべからざるは勿論なりと謂も之が爲めに死せざるべからざる必要あつて存するが、心靈の活動は無限なり、何んぞ進んで身命を賭し以て哲學の爲めに貢献する所あらざる？感情熱するが此の如し社會を忘れ國家を忘れ我れを忘れて狂的行動を敢て行はんとす、噫理性なるかな！理性なるかな！

熱烈の情火を滅する一縷の流れ、亂麻の煩紛を一氣の下に兩斷する理性の刃を寸時も放せざらん事を希ふて止まざる者なり、

「靈魂の性質は合理的なり理性は靈魂を導きて永久なる真理と融接せしめ、靈魂は其の真理と合して全く同一なる至る、されば若し靈魂にして死滅せんか、これ靈魂と真理との分裂ならざるべからず、されど永久の真理と合したる靈魂はそれ自身すでに永久なり無限は有限とならず永久の靈魂豈に滅することあらんや、アウグスチヌス」

白米 米一石 三、三〇〇 同上 三、二〇〇 中上 三、一〇〇 中 三、〇〇〇 同上 二、九〇〇	石炭 塊炭 噸五、〇〇〇 同上 噸四、八〇〇 同上 噸四、六〇〇	木炭 檜丸 表一、四〇〇 檜割 一、三〇〇 同割 一、二〇〇	呉服 晒中上 六、七〇〇 同上 六、五〇〇 同中 六、三〇〇 同下 六、一〇〇 遠州 同上 問州 同上 銘仙 同上 下中 同上	野菜 白菜 一、二〇〇 白根 一、一〇〇 葱 一、〇〇〇 人参 九、〇〇〇	紙類 機械半紙上等 四、〇〇〇 全中 三、八〇〇 全下 三、六〇〇 洋半紙上 三、五〇〇 全中 三、四〇〇 全下 三、三〇〇 樟子紙上本 三、二〇〇 全中 三、一〇〇 全下 三、〇〇〇	茶 本場上 貫三、〇〇〇 全中 貫二、〇〇〇 全下 貫一、〇〇〇 其他四圓より七圓迄
---	--	--	--	--	--	---

木炭商 鈴木金三郎商店
石城郡四倉新町

良品格安の
買へ良き店

仙 仙臺屋吳服店
平町一丁目 電話二一七番

中等教科書及辭書
學生帽・カバン・石盤類
學用品 問屋
文具

魁文堂
平町字搔籠小路五
電話三三〇六九
振替仙台三〇六九

磐城無盡商會
會長 小宅嘉久治

煙草、砂糖、鹽、荒物雜貨

米穀 商會 吉田卯三郎商店
松崎、菊地、芹澤自動車平窪停留所前
至急御入用の際は自動車にて御届け致します

紳士諸君の御定評
「仙臺屋のスタイルは實によい」
と御定評に反かす
益々シツカリ勉強致します

仙臺屋洋服店
平町一丁目

二本松電氣 株式會社
小名濱支店
福島縣石城郡小名濱町

株式會社平活版所
植田支店
電話一〇五番

福島縣平町
醸造元
山崎合名會社
電話(營業部)一〇七〇番
(醸造工場)二七〇番
振替東京一九七五五番

上野車坂町四三二
東京支店
電話淺草五七二八番
振替東京六八三二二番

平活版所
電話三〇二番

既製品
洋服各種
在庫豊富

あかや洋服店
電話二〇三番

磐城平町二丁目

平町中町十三番地に 太靈道靈子術

治療所

石城支部設置さる
あらゆる難病者の大福音

太靈道は日本に於ける隠れ癒するものである。但し催眠たる大思想家大豫言者たる術や氣合術又は心霊療法と田中守平氏に依つて唱導せしは全然異り、術の方法は頗るられたものである。顧みれば安全にして何等の苦痛危険舉行したるが、戦跡左の如く明治三十六年氏が十九才のを興ふることに信疑の觀決勝戦に於て七十七銀行が晩秋偶々日露の風雲漸く急念如何に拘らす奏効す、慢棄權し最後の榮冠は第七十七銀行の手に歸した。

編輯室から

今月より本紙擴張の前提として従來の月二回發行を月四回、即ち週刊といつたしました。それで充分準備の出来る迄當分の内二頁版を發行します。會員各位の廣告は従來通り月二回以上掲載いたします。どうぞ商業家の宣傳機關紙として今後益々御援助御利用あらんことを切望いたします。

腫物、打撲傷痛、吃音、惡癖其他諸症
今回磐城支部開設記念のため向ふ一週間無料にて施術する。右の病氣にて困難を感じるものは何人も一日も早く施術の上肉體の健康を得らるべし

縣下卓球大會

縣下卓球大會は二十六日午前九時から平町元郡役所で行はれた。戦跡左の如く

決勝戦
第七十七 須藤 藤
木村 3-2
同 1-3 田邊
菊地 1-3 同

文藝欄

◎和歌 雜詠 秋峰
一、年経りし大内山の水淺み鴨の腹ばい水濁しつ、
二、八手葉の雪の降りし、ひそみあし、小雀さへり雪落しつ、
三、圍み居し火鉢の灰の冷々さ別れて後の一人淋じき
四、我が宿の月射す窓に色そいで

寄稿歓迎

植越しに咲く梅盛りなり
五、堀松の根こぎてありぬ地すべりし土あかく春陽さすこころ
六、街角に夜露のしめり匂はせて一人の翁梅ひきさ居り
◎俳句 牛歩
一、冷寒をそよみ受けて春の窓二、ひめひの身をなひそめたり庭の雪
三、豆まきや鬼の住家はいづこや(節分によめる)
臘月
一、風や赤い物好く漬の人
二、火のついた編みかや春の風朝汽車やわが古郷はたなびける
霞の中にはやまて見ゆ
春の海砂みちくらし朝なきの清方
しろく水泡するなり
春の海まだおぐらきに眞ほひみつ
(こまゆけるみや陽の出づるも

着尺 尺着
尺模 尺模
ナモ 尺模
フリス 尺模
ルート 尺模
ンリ 尺模
ン仙 尺模
屋田龜 目丁三町平
七五電

人氣の焦点

大塚支店の靴

一、現代式の新らし味の形
一、實用本位と製産多量
一、破天荒の大安賣

運動具はな
んでも豊富

大塚支店 製靴具部

電話七〇二番

生徒募集

入學隨意 六ヶ月卒業
平町一丁目横 シンガ女學院

社員採用

就職ノ上ハ収入多大
詳細來店 アレ

平町一シンガールシンガ會社

故尾上松之助映畫
幕末 燃ゆる渦卷 第壹篇
巻話 燃ゆる渦卷 第壹篇
婦女界連載 松竹大作松
受難華 新 珠全
姉妹篇 新 珠全
竹オールスターキヤスト
本年度日活大作、監督 池田富保
彌次 韋駄天の巻全
喜多 韋駄天の巻全
河部五郎 大河内傳次郎主演
三月二日替り

三井吳服店

期節向新柄
價格いろいろ豊富

緑川三味線店

琴、三味線製造販賣
並ニ諸器類附屬品一式

平館

電話 四六六番

惠比壽屋商店

福島縣平町南町六十番地
電話 六六四番

プライム
ゼブラ 號 自轉車
アスカ

其他修繕附及用品一切